

# ファイザー社ワクチンの取り扱い（解凍）



（イメージ）

2～8℃の冷蔵庫において、3時間以内に解凍されます

- ・冷蔵庫で解凍した場合、2～8℃で1カ月保存することができます
- ・冷蔵庫の種類によっては2～8℃を維持できないものがありますので、ご注意ください
- ・冷蔵庫で解凍した日時を各バイアルやトレーに明記するなどし、冷蔵保存期間を適切に管理してください
- ・直射日光および紫外線が当たらない場所で解凍してください
- ・解凍後は再冷凍しないでください



（イメージ）

（お急ぎの場合）

室温で30分以内に解凍することもできます

- ・解凍および希釈を2時間以内に行ってください
- ・解凍後から希釈までの間に冷蔵庫での保存は行わないでください
- ・解凍後は再冷凍しないでください

希釈の作業は医療用手袋を着用し、直射日光や紫外線の当たらない場所で行ってください

手順  
①

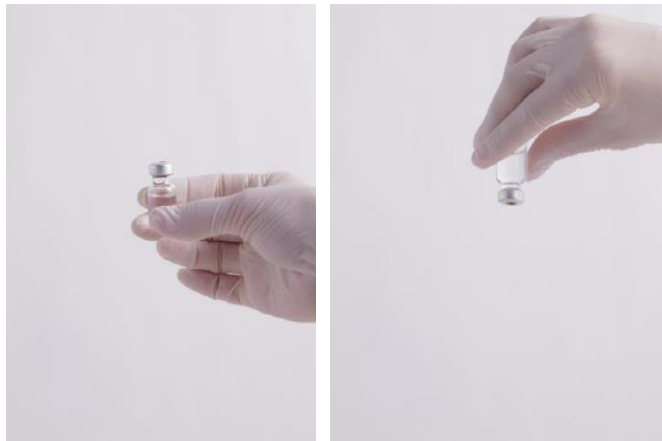


(イメージ)

(冷蔵庫で解凍した場合)  
バイアルを冷蔵庫から取り出し、室温下に置き、室温に戻してください

- ・室温に戻した後、手順②までの間に冷蔵庫での保存は行わないでください
- ・冷蔵庫内には冷気吹き出し口近く等、0℃以下となっている場合があります、その影響で解凍時間に違いを生じる可能性がありますので、ご注意ください
- ・冷蔵庫での解凍の場合、2～8℃で解凍してください

手順  
②



(イメージ)

転倒混和チェック：希釈前 希釈後

**希釈前のバイアルを**上下にゆっくりと10回反転（転倒混和）させてください

- ・室温に戻した解凍後のバイアルは、  
（冷蔵庫で解凍の場合）室温に戻した時間を含めて/（室温で解凍の場合）解凍の時間を含めて、2時間以内に希釈してください
- ・バイアルは激しく振らないでください
- ・希釈前の液は白色の微粒子を含むことがありますが生理食塩液で希釈すると溶解します
- ・希釈後に微粒子が認められる場合には使用しないでください
- ・バイアル内に異物が認められた場合は、当該バイアルを保管し、ファイザー社までご連絡ください

希釈の作業は医療用手袋を着用し、直射日光や紫外線の当たらない場所で行ってください

手順  
③

(イメージ)

生理食塩液のプラスチックアンプルとワクチンバイアルをアルコール綿で清拭し、希釈用シリンジに1.8mLの生理食塩液を吸引し、バイアル内に注入してください

- ・希釈用注射針は21Gもしくは21Gよりも細いものが推奨です
- ・希釈後のバイアル内にゴム片が混入する「コアリング」が発生する事例が報告されています\*1
- ・生理食塩液を注入する際には使用済みのバイアルでないことをご確認ください
- ・使用済みのバイアルに注入する事例が報告されています

\*1：コアリングについては輸液製剤協議会HPをご参照ください

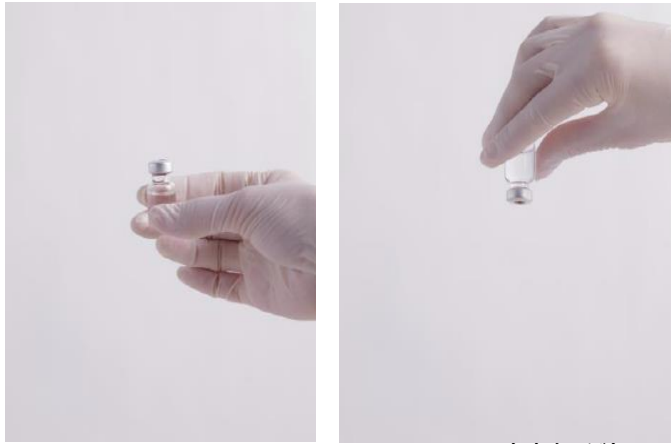
手順  
④

(イメージ)

針を抜く前に、空になった希釈用シリンジに空気を1.8mL吸引してください

- ・1.8mLの生理食塩液をバイアル内に注入すると、バイアル内の圧力は非常に高くなります
- ・そのため、同量の空気を吸引せずに針を抜く場合、針の周り、あるいは穿刺跡から、薬液が漏れ出ることで予定回数分に達しない可能性があります
- ・無菌操作を徹底するため、1つの生理食塩液のプラスチックアンプルで、2つ以上のワクチンバイアルを希釈せず、余った生理食塩液は廃棄してください

希釈の作業は医療用手袋を着用し、直射日光や紫外線の当たらない場所で行ってください

手順  
⑤

(イメージ)

転倒混和チェック：希釈前 希釈後

生理食塩液を注入したバイアルを上下にゆっくりと、白色の均一な液になるまで10回程度反転（転倒混和）させてください

- ・バイアルは激しく振らないでください
- ・希釈後は白色の液となります
- ・液中に微粒子や変色がないことを目視確認してください。希釈後に微粒子が認められる場合には使用しないでください。
- ・バイアル内に異物が認められた場合は当該バイアルを保管し、ファイザー社までご連絡ください

手順  
⑥

(イメージ)

希釈した日時をバイアルのラベルに記録し、2～30℃で保存してください

- ・再冷凍せず6時間以内に接種してください
- ・保存する際は室内照明による曝露を最小限に抑え、直射日光および紫外線が当たらないようにしてください
- ・冷蔵庫に保存した場合は使用前に室温に戻してください
- ・接種シールとバイアルのロット番号が一致していることを確認し保存してください

希釈の作業は医療用手袋を着用し、直射日光や紫外線の当たらない場所で行ってください

手順  
⑦



(イメージ)

接種用の注射針およびシリンジを準備してください

- ・国から提供された注射針・シリンジを準備してください

手順  
⑧



(イメージ)

希釈したバイアルから接種量0.3mLの接種液を  
接種用のシリンジに吸引してください

- ・粒子および変色がないことを目視で確認し、粒子および変色が認められる場合は使用しないでください
- ・希釈後の液は6回接種分（1回0.3mL）を有しています。テッドボリュームの少ない注射針・シリンジを使用した場合、6回分を採取することができます。標準的な注射針・シリンジ等を使用した場合、6回目の接種分を採取できないことがあります。1回0.3mLを採取できなくなった場合、残量は廃棄してください
- ・接種液の容量に余剰がないため、注射針を刺した状態で余分な接種液を戻す、空気を抜くなどの操作を行ってください
- ・使用済みの空バイアルは未使用のバイアルと混ざらないよう、管理をお願いします

手順  
⑨



(イメージ)

接種液を吸引したシリンジを  
医療用バット等の上に置いてください